

発達障がいの療育を考える

～「感覚統合」と「スキルトレーニング」の視点から～

11/30(土)

13:00～17:00 (12:30 受付開始)

* 講演

13:15-14:15

・ 岩永 竜一郎 氏

「自閉症スペクトラム児への感覚・運動アプローチ」

14:30-15:30

・ 小貫 悟 氏

「発達障がい児へのスキルトレーニング」

・ シンポジウム 「発達障がいの療育とは何か？」

シンポジスト：岩永 竜一郎 氏・小貫 悟 氏・小沢 浩

* 場所 明星大学 日野キャンパス 19号館
多摩モノレール 「中央大学・明星大学」駅 直結

* 定員 100名(先着順)

* 費用 1000円

* 申込方法

下記ホームページからの申込み

<http://www.shimada-ryoiku.or.jp/shima8>

※電話による申込みは受け付けておりません。



主催：島田療育センターはちおうじ

*プログラム内容

- 岩永 竜一郎 氏 (長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科保健学専攻 准教授)

「自閉症スペクトラム児への感覚・運動アプローチ」

自閉症スペクトラム障害(ASD)児の多くに運動面や感覚面の問題がよく見られます。それらの問題は社会性やコミュニケーションの問題に比べ注目されにくいのですが、運動や感覚の問題は生活上の適応困難を引き起こすことがあるため、改善に向けた指導や支援が必要です。

そこで、ASDの運動面及び感覚面の問題について、これまで明らかになっている知見とそれらの問題の改善のための療育及び、支援方法について説明します。

また、感覚刺激を用いて対人関係やコミュニケーションスキルを伸ばす療育方法についても紹介します。

- 小貫 悟 氏 (明星大学 人文学部心理学科 准教授)

「発達障がい児へのスキルトレーニング」

視力が弱い人も、眼鏡での矯正が可能で視力の弱さを補うことが出来れば、「視覚障害」という括りでは無くなります。「スキル」とは眼鏡のようなものです。自分の持っている能力の弱さを補うスキルを持つことによって、「不自由さ」を減らそうという試みです。

私は、「アカデミックスキル」「ソーシャルスキル」「ライフスキル」のトレーニングを療育の基本に据える立場で活動しています。

3つのスキルトレーニングの基本的な考え方と、具体的なエクササイズなどを紹介します。

- 小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ 所長)

発達障がいの療育の第一線でご活躍されている先生方と一緒に発達障がいの療育の本質について考えていきたいと思えます。

*アクセス

